

赤外線サーモカメラ SK-8500 取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.

このたびは赤外線サーモカメラ「SK-8500」をお買いあげいただきありがとうございます。この商品は、非接触にて温度（温度分布）をはかるためのものです。それ以外のご使用はしないでください。

概要

- 持ち運びに便利なハンディタイプです。持ち手部分はラバー材質で滑りにくく持ちやすい形状です。
- 熱画像と可視画像の重ね合わせ表示により容易に温度分布を確認できます。熱に関する変化のすばい発見と位置の特定や異常温度の検出に役立ちます。画像の重ね合わせは6段階に切り替えることができます。
- 最高温度、最低温度、画面中央の3点の温度値を表示します。
- microSDメモリーカードに測定画面（画像）を保存できます。

ご使用前に

ご使用前に付属品が不足していないか、本器が輸送中に破損していないかご確認ください。万一付属品が不足していたり、本器や付属品が破損している場合は、お買いあげ店または弊社にご連絡ください。

目次

各部の名称	1
画面の説明	2
電池のセット	2
SDメモリーカード	3
ご使用方法	3~4
保存画像について	4
USBケーブルによるデータ移動（転送）	4
画像重ね合わせ機能	4
設定モード	5~7
カーバレット設定	5
放射率設定	5~6
SDメモリーカード管理	6~7
オートパワーオフ設定	7
日時設定	7
エラーメッセージ	8
免責事項について	8
仕様	9
インターネットホームページ	9
保証規定	9
品質保証書	9

警告

本器は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気では絶対に使用しないでください。

爆発注意
爆発する恐れがあり大変危険です。

●ご不明な点がありましたらお買いあげ店または弊社へご相談ください。

注意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことをお守りください。

- ・体温計としてご使用しないでください。
- ・本器は非接触式です。測定対象物に接触させないでください。
- ・本器は精密にできていますので落下させたり、振動、衝撃を与えないでください。
- ・直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用はしないでください。正しい測定ができないだけでなく、ケースの変形や故障の原因となります。
- ・電氣的ノイズが発生する環境で使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- ・測定範囲外でのご使用は故障や破損の原因となります。測定範囲を守ってご使用ください。
- ・自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障する恐れがあります。このような場所には放置しないでください。
- ・長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと電池から液漏れする場合があります。故障の原因となります。
- ・温度測定部（センサ、カメラ）はカーゼなどで直接拭かないでください。温度測定部にキズが付くと測定精度が悪化します。
- ・埃などの多い場所でのご使用は避けてください。温度測定部に埃が付着すると測定精度が悪化します。
- ・本器は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。
- ・本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響を及ぼすことがあります。周囲の温度に十分なじませた後にご使用ください。
- ・分解、改造しますと故障の原因となりますので、絶対にしないでください。本器をアルコール、シンナー、その他溶剤等で洗ったり、拭いたりしないでください。

※修理および校正はお買いあげ店または弊社へお申し付けください。

各部の名称

●本体部

①電源キー : 長押し（2秒）で電源 ON/OFF します。

②表示部 : 「●表示部」をご参照ください。

③操作部 : 「●操作部」をご参照ください。

④ゴムキャップ : 接続端子（⑨、⑩）

⑤電池カバー : 電池収納部（固定ネジ付き）

⑥赤外線センサ : 温度を測定し熱画像を表示します。

⑦イメージカメラ : 可視画像を撮影し表示します。

⑧トリガー : トリガーを引くと測定画面を保存します。

⑨USB : USBケーブル接続端子（Mini-B）

⑩SD : microSDメモリーカードスロット

画面の説明

※測定画面の切り替えはP4【画像重ね合わせ機能】をご参照ください。

ライト（白熱電球）を測定した時の測定画面

熱画像のみで表示

Max 82°C Min 20°C

① 電池残量表示

残量 多 ← → 少

② SDキャラクタ

microSDメモリーカードが装着されていないとき（認識していないとき）に点灯します。

③ 中央スポット（固定）

中央スポットの温度値（中央スポット部分の平均温度）を表示します。

④ Max（最高温度）

画面内の最高温度と位置を表示します。

⑤ Min（最低温度）

画面内の最低温度と位置を表示します。

可視画像のみで表示

Max 82°C Min 20°C

電池のセット

本器を初めて使用するときや電池残量が少なくなったときは、以下の手順で電池をセットまたは交換してください。

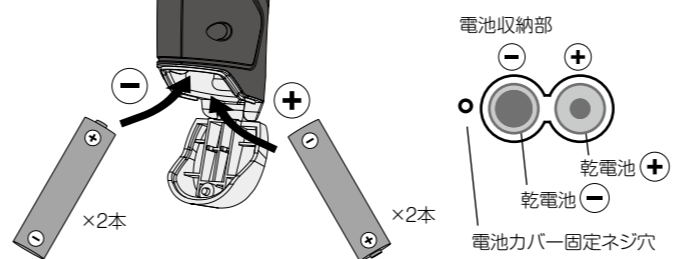
※本器は電池残量を画面上部に表示します。電池残量が少なくなった場合、速やかに電池を交換してください。

一度電池残量がなくなり電源 OFF となった電池は電池電圧が一時的に復帰して電源が入ることがあります。このとき残量表示が「」となりますが、電池容量は無い状態のためすぐに電源 OFF となります。速やかに電池を交換してください。

①電池カバー固定ネジをマイナスドライバーで反時計方向にまわし、固定ネジを緩めて電池カバーを開きます。

※固定ネジは電池カバーから外れない構造です。

②図のように電池極性をあわせて2本ずつ直列に挿入してください。



③電池カバーを押さえながら固定ネジを締めて電池カバーを固定してください。

注意

- ・電池は4本共に同じ種類のもので、すべて新しいものをご使用ください。種類が違ったり、古い電池と混ぜると破裂や液漏れの恐れがあります。
- ・電池が液漏れした場合は、液に素手で触れずすぐに拭きとってください。
- ・電池を直接ハンダ付け、ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因となります。万一、液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、目に入ったときは、水で洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。
- ・不要になった電池は火中に投入しないでください。電池が破裂してけがややけどをする恐れがあります。
- ・環境保全のため使用済みの電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようお願いいたします。
- ・電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- ・電池を破棄する場合および保管する場合には、テープなどで絶縁してください。他金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。
- ・本器を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

SDメモリーカード

本器は測定画面（画像）を microSD メモリーカードに保存します。保存された画像は SD カードリーダーや USB ケーブルを利用してパソコンに移動（転送）することができます。

操作方は P4【USB ケーブルによるデータ移動（転送）】をご参照ください。また、保存された画像は本器の画面に呼び出して表示することができます。操作方は P6【SD メモリーカード管理】をご参照ください。

※microSDメモリーカードが挿入されていない場合、画像を保存できません。

※本器に対応しているフォーマット形式は FAT 形式および FAT32 形式です。対応していないフォーマット形式は認識できません。

※本器で使用できる microSD メモリーカードは microSDHC（最大32GB）です。microSDXC には対応していません。

※ SD カードリーダーは付属していません。

●microSDメモリーカードのセット

- ①電源を OFF にしてください。
- ②ゴムキャップをめくってください。
- ※ゴムキャップは本体から取り外しできません。
- ③microSDメモリーカードを図と同じ向きに挿入します。「カチッ」と音がするまで奥に挿入してください。
- 注意：向きを間違えて挿入した場合、microSDメモリーカードや本器の接続端子が破損する恐れがあります。
- ④ゴムキャップをかぶせてください。

※microSDメモリーカードが挿入されていないとき、または認識できていないとき、SDキャラクタが点灯します。本器の電源を OFF にして microSD メモリーカードをセットし直してください。

●microSDメモリーカードの取り外し

- ①電源を OFF にしてください。
- ②ゴムキャップをめくります。
- ③セットされている microSD メモリーカードを「カチッ」と音がするまで奥に押し込むと、microSDメモリーカードが押し出されます。
- ④microSDメモリーカードをまっすぐ引き抜いてください。
- ⑤ゴムキャップをかぶせてください。

注意

- ・microSDメモリーカードは全てのメーカーの製品での動作を保証するものではありません。
- 一部 microSD メモリーカードでは正しく動作しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・microSDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- ・microSDメモリーカードの抜き差しは、必ず本器の電源を OFF にしてからおこなってください。電源 ON の状態で抜き差しすると、本器や microSD メモリーカードが故障し、データの消去や破損の恐れがあります。
- ・microSDメモリーカードに保存された画像はパソコンなどに移動して保存することを勧めます。
- ・microSDメモリーカードのデータの消失や破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・microSDメモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ご使用方法

①電源キーを2秒以上押しして電源を入れてください。起動画面を表示した後、測定画面を表示します。



②画面を見ながら本器を測定対象物に向けてください。画面に測定温度（熱画像）を表示します。



③本器を測定対象物に向けてトリガーを引いてください。トリガーを引くごとに測定画面（画像）を保存します。保存処理中は測定画面の緑が2秒間黄色となります。

※保存できるのは画像のみです。動画の撮影や保存はできません。

※保存される画像については P6【SDメモリーカード管理】をご参照ください。

※測定画面（画像）を保存する前に本器に時間を設定してください。設定方法は P7【日時設定】をご参照ください。

注意：本器に microSD メモリーカードが挿入されていないときは測定画面（画像）を保存できません。microSDメモリーカードのセット方法は P3【SDメモリーカード】をご参照ください。

④測定終了後は、電源キーを2秒以上押しして電源を OFF にしてください。

※オートパワーオフ設定が設定されている場合、設定した時間が経過すると自動的に電源 OFF となります。初期設定は 10 分に設定されています。

設定方法は P7【オートパワーオフ設定】をご参照ください。

注意

- ・本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響を及ぼすことがあります。周囲の温度に十分なじませた後にご使用ください。
- ・高温の測定対象物に対して、近い距離で連続測定すると、赤外線センサの性能が低下したり、熱によってケースが変形するなど故障する恐れがあります。高温測定は距離をとって短時間でおこなってください。また、測定温度範囲上限を超えた温度の測定対象物の測定は絶対にしないでください。
- ・測定対象物が高温のときは測定対象物が手が触れたり、輻射熱によってやけどする恐れがあり危険です。高温の測定対象物を測定する場合は危険のない距離を保ってください。
- ・本器を太陽光やレーザー光等の高エネルギー源に向けしないでください。赤外線センサが破損するなど故障する恐れがあります。
- ・測定対象物が測定領域（中央スポットなど）より極端に大きいときは測定温度が実際の測定対象物の温度と差が出る場合があります。これは、測定対象物の一部分のみを測定しているためです。
- ・また、測定対象物が小さいときは測定対象物と関係のない周囲部分も測定してしまい、実際の測定対象物の温度と差が出る場合があります。

測定の際は、測定画面（熱画像）を見ながら測定範囲を調整してください。なお、測定領域（中央スポット）の目安は、測定対象物との距離が 320mm のとき、約 10.6mm です。

- ・本器と測定対象物の距離を 320mm 以上離して使用することをお勧めします。測定対象物との距離が近いと赤外線センサ画像とイメージカメラ画像の中心位置がズレて表示されます。

保存画像について

●ファイル名とファイル形式

ファイル名はトリガーを引いて画像を保存したときの日時で作成されます。

※本器に日時を設定する方法は P7【日時設定】を参照してください。

ファイル名の形式 [Y Y M M D D h h m m s s . b m p]

年 月 日 時 分 秒 形式 (拡張子)

●ファイルの保存先

microSDメモリーカードに保存されます。本器で画像を保存したときに [Photos] フォルダが自動的に生成され、フォルダ内に画像が保存されます。

※本器の画面に表示できる画像は、本器で保存した画像のみです。パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像は表示できないことがあります。

USBケーブルによるデータ移動（転送）

本器の microSD メモリーカードに保存した画像を USB ケーブルを使用してパソコンに移動（転送）することができます。

microSDメモリーカードに保存されている画像はパソコンなどにバックアップをとることをお勧めします。

- ①付属の USB ケーブルで本器と Windows パソコンを接続してください。
- ②本器の電源を ON にしてください。起動画面表示後に [USB] と表示します。外部ストレージドライブとして認識します。
- [Photos] フォルダ内に測定画面（画像）が保存されています。
- ※本器が電源 OFF のときは、パソコンへ画像を転送できません。
- ③本器の電源を OFF にしてください。
- ④USB ケーブルを本器と Windows パソコンから外してください。

※USB ケーブルから乾電池への充電はできません。

※Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

画像重ね合わせ機能

測定画面の熱画像（赤外線センサ画像）と可視画像（イメージカメラ画像）の重ね合わせの割合を切り替えることができます。

※電源 OFF にしたときは 40%（初期値）に戻ります。

●操作方法

①測定画面を表示しているときに▲キーまたは▼キーを押してしてください。画面が切り替わります。

100%（熱画像のみ）

Max 68°C Min 19°C

80%

Max 68°C Min 19°C

60%

Max 68°C Min 19°C

40%（初期値）

Max 68°C Min 19°C

20%

Max 68°C Min 19°C

0%（可視画像のみ）

Max 68°C Min 19°C

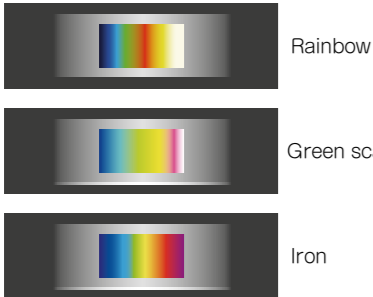
設定モード	
●設定項目	
	①カラーパレット設定 P5 ②放射率設定 P5～6 ③SDメモリーカード管理 P6 ④オートパワーオフ設定 P7 ⑤日時設定 P7
●設定値	
設定値は電源OFFや電池を抜いたときも保持されます。日時設定は電源OFFのときは保持しますが、電池残量がなくなったときは最後に動作していた時刻を保持します。電池を挿入した後は保持していた時刻からカウントを再開します。	
設定項目	設定値
カラーパレット設定	測定画面のカラー表示を3種類のカラーパレットから選択することができます。
放射率設定	測定対象物にあわせて放射率を設定できます。設定はプリセット(0.95、0.80、0.60、0.30)からの選択、もしくは任意設定(0.01～1.00範囲)からの選択が可能です。(初期値:プリセット0.95) ※任意設定の設定値はプリセットをしたときに初期値(0.90)に戻ります。
SDメモリーカード管理	保存画像を本器の画面に呼び出して表示したり、保存画像を消去することができます。
オートパワーオフ設定	最後のキー操作から設定時間が経過したとき、自動的に電源OFFにすることができます。電源の切り忘れを防ぎます。設定はOFF、1min、2min、5min、10minから選択できます。(初期値:10min)
日時設定	現在の日付と時間を設定することができます。設定された日付と時間は保存画像のファイル名に反映されます。

カラーパレット設定

測定画面の熱画像(カラー表示)を3種類のカラーパレットから選択できます。

●操作方法

- ①測定画面のときにSETキーを押してください。設定モード画面を表示します。
- ②【カラーパレット設定】が選択された状態でSETキーを押してください。SETキーを押すごとに設定が切り替わります。
- ③キーを押してください。測定画面に戻ります。

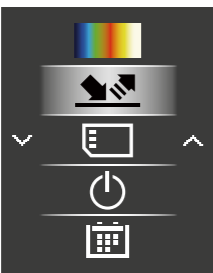


放射率設定

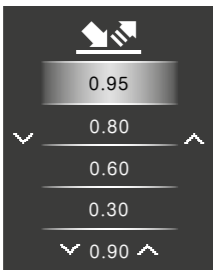
すべての物体からその表面温度に相当した赤外線が放射されていますが、同じ温度でも物体によって放射される赤外線の量が異なります。より正確な表面温度測定をおこなう場合は、「放射率表」を参考に放射率を設定してください。

●操作方法

- ①測定画面のときにSETキーを押してください。設定モード画面を表示します。
- ②▲キーまたは▼キーを押して【放射率設定】を選択してSETキーを押してください。設定画面を表示します。



- ③▲キーまたは▼キーを押して設定値を選択してください。設定値はプリセット(0.95、0.80、0.60、0.30)または任意設定(0.01～1.00範囲)から選択できます。



【プリセット(0.95)】選択

任意設定をおこなうときは、任意設定(一番下の設定)を選択してSETキーを押してください。任意設定の設定状態になります。▲キーまたは▼キーを押して放射率を設定して、SETキーを押してください。設定を保存します。



【任意設定】選択

【任意設定】設定中

- ④SETキーを押してください。設定値を確認して設定モード画面へ戻ります。キーを押すと、設定を確認せずに戻ります。
- ⑤キーを押してください。測定画面に戻ります。

●放射率表

下の表は物体の放射率の目安です。(ただし、放射率は物体の温度、表面状態によって多少異なるため、あくまで表の値は目安としてお使いください。)

物体	放射率(ε)	物体	放射率(ε)	物体	放射率(ε)	物体	放射率(ε)
鉄	0.85	セラミック	0.80	紙	0.92	肉・魚	0.98
鋳鉄	0.85	タイル	0.80	布	0.75	野菜	0.98
アルミ	0.30	アスベスト	0.90	プラスチック	0.95	パン・菓子	0.98
銅	0.80	アスファルト	0.85	ゴム	0.95	穀類	0.98
真鍮	0.60	コンクリート	0.95	カーボン	0.98	油	0.98
ニクロム	0.60	土	0.95	皮膚	0.97		
ガラス	0.85	木材	0.98	水	0.98		

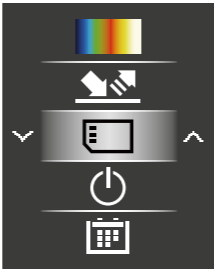
金属は酸化されたものです。

SDメモリーカード管理

SDメモリーカードに保存された画像を本器の画面に呼び出したり、消去したりすることができます。

●操作方法

- ①測定画面のときにSETキーを押してください。設定モード画面を表示します。
- ②▲キーまたは▼キーを押して【SDメモリーカード管理】を選択してSETキーを押してください。設定画面を表示します。

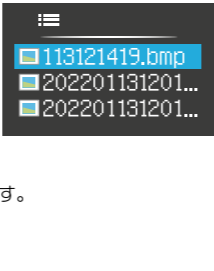


●保存画像の呼び出し

- ①設定画面で▲キーまたは▼キーを押して【画像の呼び出し】を選択してSETキーを押してください。保存画像リストを表示します。



- ②▲キーまたは▼キーを押してリストから画像を選択して、SETキーを押してください。本器の画面に画像を表示します。キーを押すと保存画像リストに戻ります。画像を表示した状態で▲キーまたは▼キーを押すと画像の切り替えができます。
- ③キーを3回押してください。測定画面に戻ります。



●保存画像の消去

※消去する前に大切な画像が保存されていないことを確認してください。大切な画像はパソコンなどに保存してください。

- ①設定画面で▲キーまたは▼キーを押して【画像消去】を選択して、SETキーを押してください。画像消去画面を表示します。



- ②▲キーまたは▼キーを押してを選択して、SETキーを押してください。microSDメモリーカードの保存画像(Photosフォルダ内のすべてのファイル)を消去して設定画面に戻ります。を選択したとき、およびキーを押したときは画像を消去せずに設定画面に戻ります。



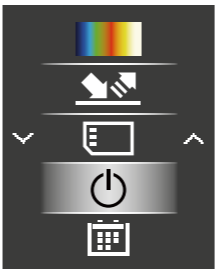
- ③キーを2回押してください。測定画面に戻ります。

オートパワーオフ設定

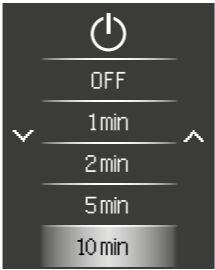
最後のキー操作から設定時間が経過したとき、自動的に電源OFFとなります。電源の切り忘れを防ぎます。

●操作方法

- ①測定画面のときにSETキーを押してください。設定モード画面を表示します。
- ②▲キーまたは▼キーを押して【オートパワーオフ設定】を選択してSETキーを押してください。設定画面を表示します。



- ③▲キーまたは▼キーを押して設定値を選択してください。



- ④設定後にSETキーを押してください。設定を確認して設定モード画面に戻ります。キーを押すと設定を確認せずに戻ります。

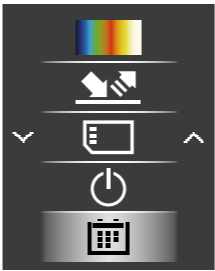
- ⑤キーを押してください。測定画面に戻ります。

日時設定

現在の日付と時間を設定することができます。設定された日付と時間は保存画像のファイル名に反映されます。

●操作方法

- ①測定画面のときにSETキーを押してください。設定モード画面を表示します。
- ②▲キーまたは▼キーを押して【日時設定】を選択してSETキーを押してください。設定画面を表示します。

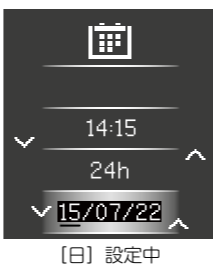


- ③▲キーまたは▼キーを押して設定項目を選択してSETキーを押してください。設定状態になります。

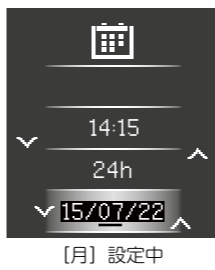


【日/月/年】選択

- ④▲キーまたは▼キーを押して設定してください。SETキーを押すと次の設定値に移ります。



【日】設定中



【月】設定中

- ⑤キーを押してください。設定を確認して設定画面に戻ります。
- ⑥キーを2回押してください。測定画面に戻ります。

エラーメッセージ

本器に異常が発生した場合、表示部にエラーメッセージを表示してお知らせします。

エラーコード	内容	対策
--	測定値が表示範囲をこえています。	測定範囲内でご使用ください。
Low power, shutdown!	電池残量が不足しています。	新しい電池に交換してください。電池の交換方法はP2【電池のセット】をご参照ください。
Insert SD Card	・microSDメモリーカードが挿入されていません。 ・microSDメモリーカードを認識できません。	・本器の電源をOFFにしてmicroSDメモリーカードをセットしてください。 ・microSDメモリーカードが正しく接触していない可能性があります。本器を電源OFFにして、カード端末部に埃やゴミの付着がないこと、汚れがないことを確認して再度セットしてください。 ・microSDメモリーカードが本器に対応していない可能性があります。本器で使用できるカードはmicroSDHCメモリーカード(最大容量32GB)です。詳細はP3【SDメモリーカード】をご確認ください。
Not enough memory	microSDメモリーカードの容量が不足しているため画像を保存できません。 ※本器の起動中にmicroSDメモリーカードを抜いたとき、カードを認識できず表示することがあります。	microSDメモリーカードの空き容量を確保したうえで再度セットしてください。 ※本器にmicroSDメモリーカードをセットするときは、本器の電源をOFFにしてください。セットの方法はP3【SDメモリーカード】をご参照ください。
No files	microSDメモリーカード内に保存された画像がありません。	microSDメモリーカードに画像を保存してください。画像を保存する方法はP3【ご使用方法】をご参照ください。
Invalid format	microSDメモリーカードが正しくフォーマットされていないため認識できません。	本器に対応していない形式でフォーマットされている可能性があります。microSDメモリーカードをFAT形式またはFAT32形式でフォーマットしたうえで再度セットしてください。 ※本器にmicroSDメモリーカードをセットするときは、本器の電源をOFFにしてください。セットの方法はP3【SDメモリーカード】をご参照ください。
上記の対策をしても改善しない場合や上記以外の症状が発生した場合はお問い合わせ店または弊社にご相談ください。		

免責事項について

株式会社佐藤計量器製作所は本製品に関して動作確認はおこなっておりますが、全ての状況下において動作を保証しているわけではありません。本製品により生じた損害は、直接的および間接的損害を問わず、弊社に一切の賠償責任はないものとします。

操作上のミス、注意を無視した操作、ご使用になられているmicroSDメモリーカードに起因する不具合、お客様のご使用の環境により生じたデータ欠損および消失に対して弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様

製品名	赤外線サーモカメラ
型式	SK-8500
製品番号	8290-00
測定範囲	−20.0～650.0℃
表示範囲	−22.0～655.0℃
測定精度	±2℃または±2%readingのいずれか大きい値 ※周囲温度23℃のとき
分解能	0.1℃(中央スポット)、1℃(Max、Min)
放射率設定	0.01～1.00の範囲で設定可能
検出素子	赤外線サーモパイルアレイセンサ
測定波長	6.5～14 μm
熱感度(NETD)	<150mK
熱解像度	32×32pixels
視野角	33°×33°
画像周波数	9Hz
フォーカス	固定焦点
ディスプレイ	1.8型 カラー TFT (128×160pixels)
メモリ	microSDHCメモリーカード ※SDXCは使用できません。
インターフェイス	USB Mini-B (データ転送) ※充電はできません。
使用環境条件	10～40℃ 85%rh以下(結露なきこと)
保管環境条件	0～50℃ 85%rh以下(結露なきこと)
電源	単4形乾電池 4本
電池寿命	約6時間 ※常温、アルカリ乾電池使用のとき
材質	ABS樹脂、TPE樹脂
寸法	約(W)43×(H)175×(D)68mm
質量	約174g(電池含む)
付属品	取扱説明書 1部 単4形乾電池 4本 USBケーブル 1本 microSDメモリーカード 1枚 ポーチ 1個

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※付属の乾電池はモニター用のため、電池寿命が規定より短い場合があります。

インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。
<http://www.sksato.co.jp>

保証規定

- 1) 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社にご持参またはご送付ください。
- 3) 保証期間内で多次の場合は有償修理となります。
 - イ. 誤用・乱用および取扱不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じた傷等の外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項(お買いあげ日、販売店名等)の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また本証は再発行いたしません。大切に保存してください。

品質保証書	
お願い	本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管ください。
※当商品の保証書にご記入された、お客様の個人情報、商品の修理・交換の商品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。	
品名	赤外線サーモカメラ 型式 SK-8500
※お客様名	_____
※ご住所	_____
※TEL () _____	
●以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印してください。	
お買いあげ店名	_____ 印
ご住所	_____
TEL () _____	
お買いあげ年月日	_____年 月 日

SKS 株式会社佐藤計量器製作所
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3丁目4番地
TEL 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119